

2016 年度前期 学生授業評価アンケート集計結果に対するコメント

—経済学研究科—

経済学研究科長 岩崎 尚人

大学院の学生による授業評価の本年度前期の結果は、総合的評価が 4.93 であることから、例年同様に、概ね高い評価レベルにあると思われる。

「教員は授業時間を有効に利用した (4.94)」「教員の話し方は明瞭であった(4.86)」、「この分野の関心と学力が得られた (4.87)」などの諸点では、昨年度後期 (2015 年後期) と比較して高く評価される傾向にあり、教員がアクティブ・ラーニングを採用するなど教授法の改善の成果であると考えられる。とりわけ、三点目については、総合評価とも相関関係が高く、今後もこの点に留意し授業を進めていくことが求められる。